

## 現代図録編、今秋刊行

今年 11 月の刊行に向けて、現代図録編の編集作業を進めていますが、今回はその概要を紹介いたします。

現代図録編は「第二次世界大戦終結から現在までの写真・図版類を中心とした資料編」と相模原市史続編編さん基本構想に規定されており、文字通り数多くの写真や地図、表などを使用したものになります。

編集に当たり「写真や図版を見ながら、戦後相模原の移り変わりをイメージできるようにすること」を目指し、「見る市史（写真や図版を見る）、読む市史（キャプションから写真や図版の中身を読み取る）、調べる市史（理解を深めるためのヒントを設ける）」を具体的な視点として作業を進めてきました。

全体構成は三部構成とし、第一部では主に地形図をもとに、戦後急激に変化した市域全体の様子や拠点地区の変ぼうを示していきます。続く第二部では相模原を特徴付ける「台地」、「基地」、「変貌」、「人口急増」等の 5 つのキーワードをもとにテーマを構成し、自然やまちの景観変化、軍都計画や米軍基地問題、農業・工業・商業の変化、都市化の問題、道路や下水道の整備、市民生活や市民活動の変化等について写真・図版を使用して描写していきます。さらに第三部では市域の変化を調べるために必要な基礎的資料として、戦後の統計データ及び年表を掲載する予定です。



米軍基地返還促進市民協議会のデモ行進  
1971(昭和46)年



1956(昭和31)年の市民体育祭で  
体操の実技をする東京女子体育  
短期大学の学生

現代図録編にはおよそ 600 点の写真を掲載する予定ですが、その多くは市民の方々をはじめ関係機関から提供いただいた貴重なものです。こうした写真を活用しながら、わかりやすく、利用しやすいものを作るために現在作業を進めています。

この現代図録編は、市民のみなさんが手にとりやすいよう、各図書館や博物館、公民館図書室に閲覧用を配置します。また、市史編さん室と市役所行政資料コーナーでの販売と合わせて、市内の主要書店でも販売する予定です。

(主査 小原 隆)

# 現代編資料探訪・上



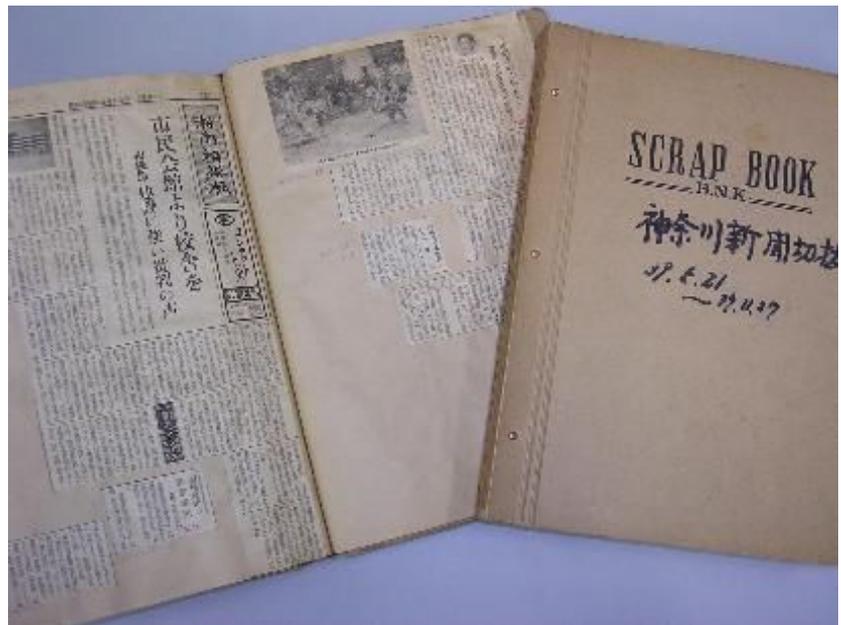
## 田所長義氏収集新聞記事スクラップ

『現代資料編』に向けての資料整理作業のひとつとして、田所長義氏（元相模原市収入役）から寄託された 98 冊に及ぶ神奈川新聞の切り抜き（期間：1963(昭和 38)年 12 月 26 日～1996(平成 8)年 6 月 8 日、一部他新聞切り抜きも有り）のスクラップブックを整理し、目録を作成しています。今回はその中の記事を紹介します。

1964（昭和 39）年 4 月 14 日の神奈川新聞には、「喜ぶ農家の主婦たち 相模原 季節保育所が店開き」という見出しで、農繁期を迎えた相模原市内に「季節保育所」が開かれたことが掲載されています。

記事には、上溝・番田地区の「ひばり児童館季節保育所」が開所し、番田、虹吹、田尻、丸崎など 4 地区の農家の子ら 40 人が集合したことや、市内の「季節保育所」が「ひばり児童館」を皮切りに 7 か所で次々に開所し、7 月いっぱいまで毎日（8 時～17 時まで）続けられることが書かれています。

この「季節保育所」はオシメがとれた子から就学前までの幼児を預かり、農繁期の農家の人たちが安心して農作業ができるよう設けられたものでした。「農家では苗しろづくり、ムギの手入れ夏野菜タネまきなど、ネコの手も借りたいほどのいそがしさ。働き手の若者たちは工場、会社づとめで農村は人手不足が深刻。足手まといになっているこどもらを、日中めんどうみてくれるところがあると、農作業もはかどるわけでとくに農家の主婦は季節保育所の開所を待ち



### 98 冊にもおよぶ田所氏のスクラップ

望んでいた。」と書かれ、また上溝の内田さん（当時 49 歳）という方が 14 年間も無料で保母として「ひばり児童館」で子どもたちの面倒をみていることも紹介されています。

現在では農家も減り、開かれなくなった「季節保育所」ですが、市内の工業化が進んでいた一方で、当時、重宝されていたことをうかがい知ることができる記事です。

田所氏は相模原市に関係のある記事を中心に、スクラップをやっていったようですが、それらを追うことで、年代の移り変わりと共に相模原の暮らしの変化をうかがうことができます。

（調査員 夏井 美奈子）

## 前市史編集室の

### 写真から 16

写真は 1965(昭和 40)年に撮影されたもので、現在の清新四丁目 10 番付近にあたります。

台地が広がる相模原では、江戸時代から開発が多く行われました。一般に、江戸時代の開発は「新田」と呼ばれますが、この清新地区の名称の由来となった清兵衛新田などは、そのひとつです。なお、「清新」の地名になったのは、1967(昭和 42)年 4 月 1 日の住居表示実施からです。

このころは、市内の住宅地でも未舗装の道路が多く見られました。市発行の「相模原市政の概要」によれば、1967(昭和 42)年の市道の舗装率はわずか 5.0 パーセントにすぎません。

下の写真は 2002(平成 14)年の夏に撮影したのですが、電柱は木製からコンリート製に変わり、道路も舗装されています。なお、この年の市道の舗装率は 82.6%になっています。

(主任 方波見 淳)



○好評！ 市史全 7 巻を割引販売中

**特別価格 1 万円**

4 月 1 日からの 1 年間、市制 50 周年を記念して相模原市史 7 巻セットを特別価格にて販売中です。(通常価格 2 万 1300 円)。

お求めは、直接市史編さん室か市役所行政資料コーナーへどうぞ！ また、遠方の方は送料実費で配送の取扱いもいたします。詳細は、お問い合わせください。

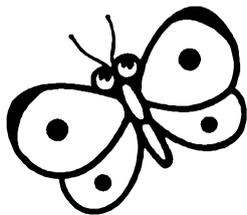
### ○職員人事異動

安立武晴室長は 3 月 31 日付で退職し、4 月 1 日付で田所哲男主幹が室長に昇任しました。

### ○市史編さん室の新しいスタッフです

夏井 美奈子 (なつい みなこ) 調査員

4 月から調査員として働くことになりました。現代図録編の刊行、現代資料編の準備とますます慌しくなりますが、少しでも貢献できるよう励んでいきたいと思っております。



## 編さん室の動き (3月～4月)

月	日	内 容	
3	2	市史編さんだより第17号発行	
	3	八王子市郷土資料館へ考古資料調査 市制50周年記念展について博物館と打合せ	
	5	日本窯業史研究所・烏山町図書館・同資料館(栃木)へ資料調査(6日まで)	
	6	市史講演会「相模野ー近世から近代へー」開催(受講者192人) 「相模原市構想鳥瞰図」作者関係者・研究者来室	
	9	考古資料調査(個人宅)(10日にも実施)	
	10	現代図録部会開催	
	11	平成15年度第3回編集委員会開催	
	12	景観写真撮影(古淵)	
	13	平成15年度第3回市史編さん審議会開催	
	17	県考古学財団(横浜)から勝坂遺跡資料運搬	
	19	民俗部会開催	
	4	1	市史編さん調査員委嘱式 市史7巻セット特別販売開始(市史編さん室・情報公開室)
		2	市史編さん室特別顧問委嘱式(市長室)
3		近現代部会開催	
5		市制50周年記念展について博物館と打合せ(14日・23日にも実施)	
8		考古資料の取扱いについて文化財保護室・博物館と打合せ	
15		日本窯業史研究所(栃木)から勝坂遺跡資料運搬	
17		考古部会開催	
21		自然部会開催	
27		現代図録編作成委託契約	

### 「さがみはら市史編さんだより」第18号

発 行 2004(平成16)年5月1日

編 集 相模原市総務部総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-19

TEL 042(750)8025 / FAX 042(750)8039

E-MAIL : shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp